



自然科学探究 南極教室

日時 平成26年 7月 10日(木)

参加者 1・2年生サイエンス・サーベイ・コース(SSC) 80名

内容

国立極地研究所 第55次 日本南極地域観測隊 越冬隊環境保全 鯉田 淳 氏をMCに「日本の南極における調査と生活」と題して南極教室を実施しました。昭和基地と接続しライブで研究や地球環境について、対談・クイズなどの形で解説していただきました。



送っていただいた南極の氷です。触るとプチプチと音を出しながら気泡がはじけ1～2万年前の空気が出てきました。



国立極地研究所広報室から小濱広美さんがこの教室のサポートに来られました。実際に南極や北極へ行かれています。



ぬれたタオルを振り回して屋外で凍る実演をしていただきましたが、外気温が低くなく、残念ながら凍りませんでした。



事前に質問していた地球環境や生活などについて話していただいているのを、楽しく興味を持って聞きました。



昭和基地からは食堂の一部をスタジオにして、和やかな雰囲気の中で明るく親しみやすい言葉で解説していただきました。



○×クイズでは、楽しく答えることができました。たくさんの正解者で飾西校生の知識の高さを昭和基地にアピールしました。



「不便を感じることは」の質問に、「メールや電話で話ができるが必要なものが直ぐに手に入らない、家族や友人に会えない」



おしまいには、みんなで大きく手を振ってお礼の気持ちを表現しました。昭和基地の結束の強さと明るさが届きました。



南極教室終了後には、NHKからインタビューを受けました。当日16:10「ニュース神戸発」とインターネットで放映されています。